



気をつけよう！感染症（令和7年第9号）

令和7年8月6日発行
松本市保健所保健予防課

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に注意！！

○重症熱性血小板減少症候群(SFTS)とは？

主に SFTS ウイルスを保有しているマダニに刺されることにより感染するダニ媒介感染症です。SFTS ウイルスに感染し発症している動物（ペットの犬・猫等を含む）の体液に接触することで感染することもあります。

○症状

マダニに刺されてから6日～2週間後に症状が出現

主な症状：発熱、消化器症状（嘔吐、下痢等）

重症例では死に至る可能性あり

（国立感染症研究所の研究によると、日本の SFTS 患者の致命率は 27%）

○長野県内でも注意！

・今年（2025年）の全国累計届出数は 110 件
（2025 年第 28 週まで）

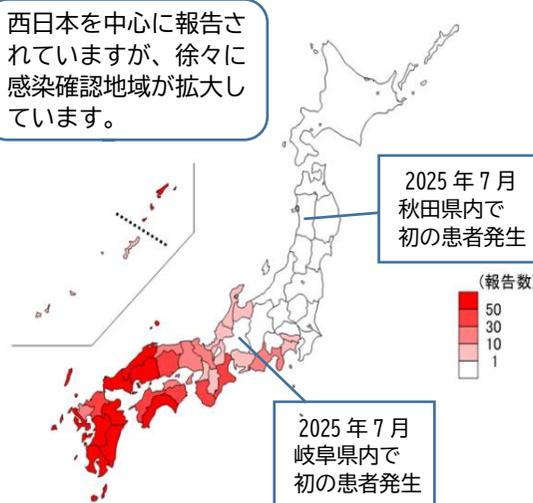
・長野県内でも過去の調査で、SFTS ウイルスを持つマダニや感染したシカが見つかっています。
（JIHS <速報> 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）ウイルスの国内分布調査結果（第二報））

・長野県内ではこれまでに患者発生の報告はありませんが、近隣県でも感染が広がっており注意が必要です。

これまでに SFTS の届出がある地域

2025 年 4 月 30 日現在（JIHS）

西日本を中心に報告されていますが、徐々に感染確認地域が拡大しています。



予防のポイント

農作業やレジャーなどの活動をする場合は、マダニに咬まれないよう注意しましょう。

○肌の露出を少なくする

- ・長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用
- ・帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く
- ・シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる
- ・足を完全に覆う靴を履く



○明るい色の服を着る(マダニを目視で確認しやすい)

○虫除け剤を使用する(医薬品の表示があるものがおすすめ)

- * 上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう
- * 屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認をしましょう

マダニに刺された時の対応

○無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科など)で処置(マダニの除去、洗浄など)をしてもらいましょう。

○マダニに刺された後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が現れた場合は速やかに医療機関を受診しましょう。受診の際はマダニに刺されたことを伝えてください。

[松本市ホームページ](#)

[厚労省ホームページ](#)

[JIHS パンフレット](#)

